

令和4年4月28日  
(土木部河川課)

## 【概要資料】

# いわき市と日本工営(株)との 流域治水の推進に関する連携協定



協定締結式：令和4年4月28日（木）13時30分  
場 所：本庁舎3階 第3会議室

 いわき市 × 日本工営(株) *NIPPON KOEI*



*NIPPON KOEI*





# 1 流域治水について

近年の頻発化・激甚化する水害や今後の気候変動を踏まえ、これまでの河川等の対策に加えて、あらゆる関係者との連携、協働により水害の防止・軽減を図る「流域治水」への転換を促進。



出典：社会資本整備審議会「気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について」(R2.7)

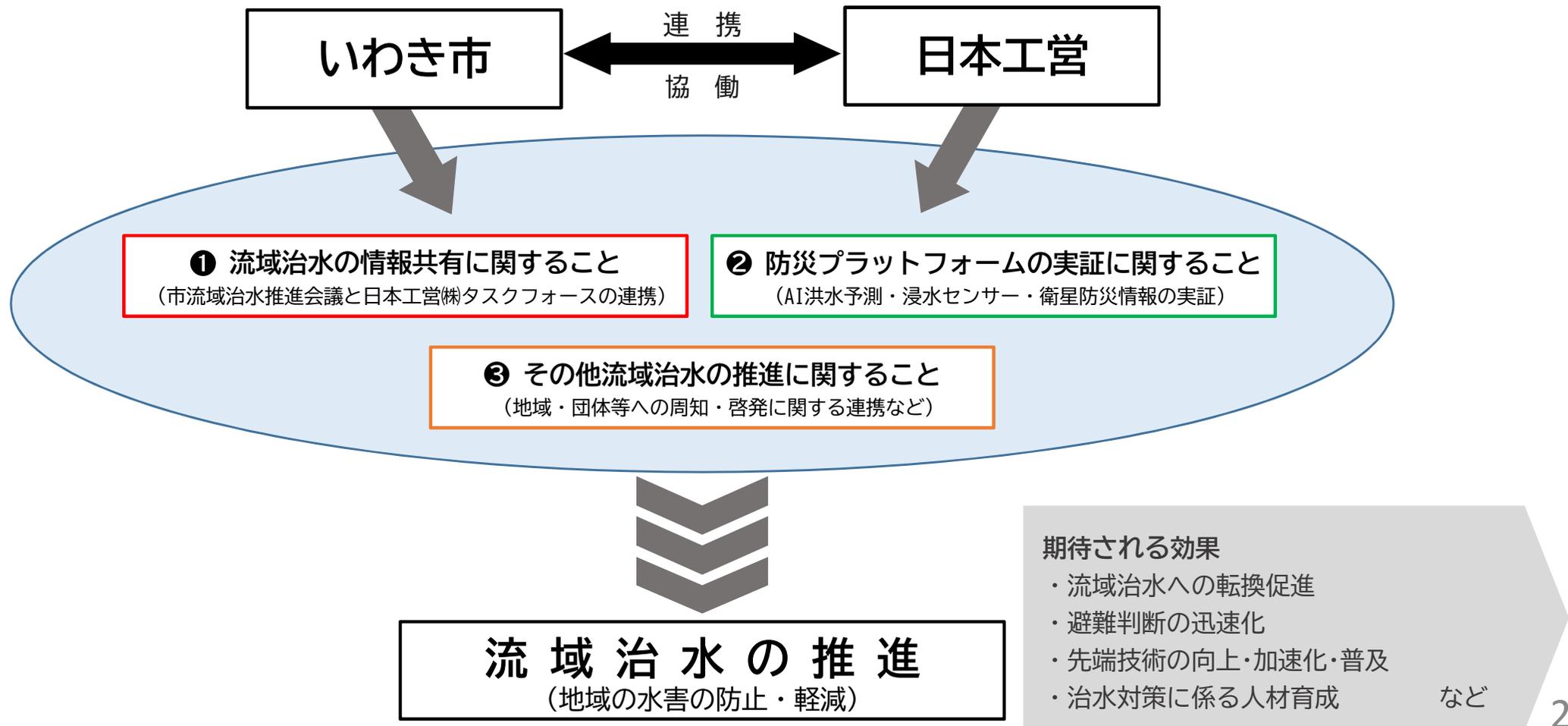


## 2 いわき市と日本工営株式会社との連携協定について

### (1)連携協定の概要

いわき市と日本工営(株)は、治水対策等の情報の共有を図るとともに、先端技術を活用した防災プラットフォームの実証等について連携して取り組むことにより、流域治水を推進します。

これらの取り組みにより、流域治水への転換促進や避難判断の迅速化など、地域の水害の防止・軽減につなげていきます。





## 2 いわき市と日本工営株式会社との連携協定について

### (2)防災プラットフォームの実証

防災プラットフォームは、日本工営(株)の解析・予測技術により、災害リスク情報をワンストップで提供するシステムです。

本協定では、雨量などの情報をリアルタイムで解析し、水位・流量・氾濫の予測を行うほか、次の付加機能(先端技術)の実証を行います。

#### ①AI洪水予測の実証



既存の水位計や浸水センサーのデータを解析し、過去の水害情報などを学習したAIにより洪水予測を行います。

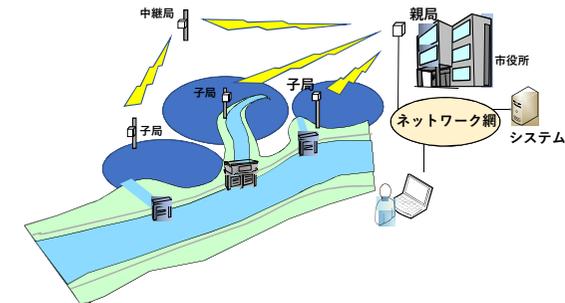


<AIによる洪水予測イメージ>

#### ②浸水センサーの実証



これまで水位を把握しきれなかった小規模な河川や水路などに簡易型の浸水センサーを設置し、水位の変化を把握します。



<浸水センサーのイメージ>

#### ③衛星防災情報の実証



衛星防災情報サービスを活用し、天候に左右されることなく、浸水や土砂災害などの被害情報を広域に把握します。



<衛星防災情報サービスの活用イメージ>